

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界に希望を生み出そう



寛容の心で、
ロータリーを楽しもう

RI会長 ゴードンR・マッキンリー 2023～2024

富津中央RC会長 若鍋武良

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2757 第36回例会 2024. 4. 18 晴

点 鐘 : 若鍋武良 会長
進 行 : 渡辺哲夫 SAA 飯島由美 副SAA
ソング : 我らの生業

会長挨拶

若鍋武良 会長



皆さん今日は、今日新しく入会されました伊藤嘉昭会員には、ロータリアンとしてこれからのご活躍を期待致します。

先週開催されましたガバナー公式訪問に大勢の会員に参加いただき有難うございました。今年度クラブでは、「ロータリーを知り、学び、ロータリーを楽しむ」の方針で活動しております。新入会員が大勢増えましたので、鶴沢ガバナーの話をもとに「ロータリーに関する知識」について考えてみます。

(1) ロータリーのクラブ数とロータリアンの人数

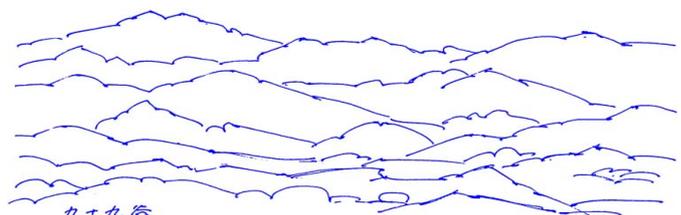
1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生、現在世界におけるロータリーのクラブ数は、36,851クラブ。会員総数は、1,172,671人。日本にお

いては、1920年(大正9年)10月20日に東京ロータリークラブが誕生。現在日本におけるロータリークラブ数は2,204クラブ。会員総数は、84,006人(2024年1月末現在)『ロータリーの友』6月号より(毎号6ページが「ロータリーとは」のページです。

(2) 最近のRI(国際ロータリー)会長とRIテーマ
2022-23年度ジェニファー・ジョンズ(カナダ、ウンザー・ローズランドRC)女性。国際ロータリー初の女性会長、テーマ「イマジン ロータリー Imagine Rotary」。2023-24年度ゴードンR マッキナリー(スコットランド、サウス・クイーンズフェリーRC)「世界に希望を生み出そう Create Hope in the World」。2024-25年度 ステファニー・アーチック(米国、ペンシルベニア州マキマリーRC)国際ロータリー2番目の女性会長、「ロータリーのマジック Magic Rotary」

(3) ロータリーとは ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3つの部分から成り立っています。ロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリー(RI)というグローバルな連合体に加盟しています。ローターアクトクラブは、大学生や若い職業人を主に対象としています。ロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリーの加盟クラブです。ロータリー財団は地元の奉仕プロジェクトから世界的なイニシアチブまで、ロータリーの人道的活動に補助金を提供しています。ロータリーの仕組みに於いて最も大切な土台となるのがクラブです。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



200以上の国と地域に36,000以上のロータリークラブと10,000以上のローターアクトクラブがあり、世界で、地域社会で活動しています。「ロータリー」という名は、会員がそれぞれの事務所を輪番(ローテーション)で例会場としたことに由来しています。

幹事報告

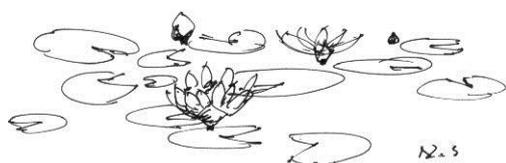
岡元 誠 幹事



1. 「台湾東部沖地震」支援金についてお知らせと募金箱を回覧。
2. 千葉RC例会卓話最新スケジュールのお知らせを回覧。
3. 5/16移動例会『春だ心うきうきBBQ』出欠を回覧。

入会式

伊藤嘉昭 会員



新会員の紹介

紹介者 栗原典子 会員



皆様こんにちは。伊藤様ご入会おめでとうございます。伊藤ご夫妻との出会いはEveにご来店いただきましてゴルフの話に花が咲き、また富津市愛に溢れたお話を聴かせていただいている中でロータリー活動を共にしたいという気持ちが芽生え今日に至りました。前回の親睦コンペではベスグロ86を出され奥様も87と凄腕ご夫妻です。これからもどうぞ末永いおつき合いを宜しくお願い致します。

入会の挨拶

伊藤嘉昭 新会員



4月より入会させて頂きました伊藤嘉昭(いとうよしとる)と申します。

千種新田に自宅があり、栗原典子会員のお店に行くようになったことが富津中央RCとの出会いです。仕事は公認会計士として、監査法人にて金融機関への会計監査及びアドバイザーサービスを提供しております。監査法人もいまでは地域共創ということで、地域での社会課題解決に向けた人的ネットワークの形成、官公庁等と連携したビジネスマッチング、中小企業支援、創業支援、若者の定着など、地域エコシステム形成の取り組みにも積極的に取り組ん

でいます。

私も都心から車で1時間ほどの距離にある富津市の魅力とポテンシャルは非常に高いと思っており、職業奉仕の活動として富津市のさらなる活性化に貢献したいと考えております。

富津中央RCの新1年生として、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

会員卓話

『私の半生』

須藤 隆 会員



私事の過去を披露するのは気が引けますし、自分の身の程を考えると、おこがましい限りですが、ロータリアンの仲間にお許しいただき、ロータリーに入会するまでの半生をかいつまんでお話してみたいと思います。

1. 幼少から学生時代まで

- ・生まれ：昭和18年11月9日東京都大田区荏原町で誕生。
- ・疎開：戦争が激しくなり東京から母の実家がある千葉県君津郡竹岡村に疎開。
- ・父は仕事で東京に残り単身赴任。
- ・竹岡小学校に入学。
- ・8歳の時、3人の幼子を残して、病に臥していた父が亡くなる。
- ・母の働きだけで、赤貧生活が始まる。
- ・小学校時代は遊びが中心、勉強をするといじめられるような環境で育った。
- ・小学校5年の時、夜、近くの町道場で中学2年までの4年間、柔道の稽古に通う。



- ・中学校では陸上部に所属。
- ・木更津高校では、バレー部に誘われるも竹岡からの電車通学で、帰宅が夜遅くなるのを嫌って、部活に参加せず、家から学校までの1時間を電車通学。
- ・大学受験に失敗し、人生最初の挫折。
- ・1年浪人後、志望大学の受験に自信をもって挑むも、合格ならず、私学の早稲田大学工学部機械工学科に入学。
- ・学生時代は、奨学金と家庭教師のアルバイトで生活費を賄う。毎週のようにレポートに追われ、結構忙しい学生生活だった。
- ・スイスの哲人カール・ヒルティの「幸福論」や「眠られぬ夜のために」が学生時代の座右の書となり、人生における考え方に大変な影響を与えてくれたような気がする。
- ・学生時代の一番の思い出は、10日間かけて、北海道の旭岳やトムラウシ等の大雪山縦走、知床半島の羅臼登山、利尻島の利尻富士登山。



2. 技術者としての約20年間

- 大学を卒業と同時に、東京にある光学機械製造メーカーに就職、企業向けの特種機械設計部門に配属、自ら設計した機械の組み立てから完成、納入、検収立ち合いまでが主な仕事。
- 3年後に黒田精工に転職。
- 転職の理由
転職前の会社で、半導体露光装置の開発に従事するも、この開発を進めるには多大な投資が必要であり、当時の会社トップが大きな投資を要する開発に躊躇したため、別会社を設立してでもその開発を継続したいとし、No. 2の役員と共に別会社設立の動きを極秘裏に進める。ところが、新会社設立にあたり、そのトップ人事を巡り、トラブルが発生、結局、新会社設立ならず。私も一度会社を辞する決意をしたため、技術者募集の新聞広告を見て応募。
- 26歳で黒田精工に転職、黒田精工でも機械設計者として新商品開発に従事、多くの商品開発を手掛け、40歳まで、他社の技術者との交流も経験し、充実したエンジニア生活を送る。
- 35歳の時、ドイツの企業と技術提携話が進展、技術提携交渉に技術者として派遣される。技術提携が締結され、半年後に、技術責任者として、二人だけで技術導入のため3週間ドイツに滞留する。プロジェクト長として4年間、提携商品の製造技術と国内販売に専念する。
- 40歳の時に管理者になり、商品開発の実務を担当しながら、マネジメントに携わる。
- 多くの新商品開発を担当し、仕事を成し遂げるうえで最も大切な要素は何かという本質的なものを肌で実感する。

第1 なにがなんでも達成するとの強い情熱を持ち続けること。

第2 その人の仕事に向き合う考え方や幅広い人間性。

第3 不断の努力を欠かさず、常に新しい知

識を受け入れる能力。

商品開発にはこの3要素が欠かせないことを痛感した。(すべての仕事に共通)

3. 管理者から役員としてリタイアするまで

- 管理者として、技術管理、品質管理、営業企画(本社勤務、単身赴任)、工場次長をそれぞれ2年間担当し、工場次長の時には米の企業との技術提携交渉に単独で渡米し、交渉をまとめる。
- 52才で富津工場長を担当、1年後には事業部長を兼務する。
- 54才で事業部長に専念し、事業部全体の利益責任を負う。
- 56才の時、担当事業部が当時の不況もあって赤字に陥る。事業部の責任者として赤字脱却のため、別会社設立の提案をする。自らの提案実施のため、別会社に出向・転籍する。
- 別会社に転籍半年後、米国に商品販売促進のため単独で出張、帰国した直後に黒田精工本社から呼び出され、急遽総務部長を任命される。技術製造畑出身者の総務部長は異例である。
- その後、役員(取締役)として総務部長を2年、事業部長を2年担当し、61才で常勤監査役(任期4年)を拝命する。4年の監査役任期満了後、会社人生をリタイアする。(ロータリー人生の始まり)

4. 労働組合の幹部の経験

- 最初に入社した会社で、入社2年目で労働組合の幹部に推薦される。技術者として仕事はかなりハードであり、組合の仕事まで、とてもやっていたられないとの気持ちが強かったが、結局これも経験かと思い引き受ける。ところが翌年に書記長に推され、会社との直接の窓口として交渉の責任を負う。会社始まって以来の時限ストライキの経験もする。
- 黒田精工に転職して労働組合の幹部は引き受けまいとの強い気持ちを持っていたが、結局組合幹部に担ぎ出され、引き受けざるを得なくなる。

・全工場を代表した中央執行役員の時（32歳）、1500名いた従業員を半減させる未曾有の希望退職に遭遇する。従業員を半減させることの大変さと、組合員の生活をいかに守るかはさまで、会社側との交渉に腐心する。会社倒産も覚悟せざるを得ない状況に追い込まれるなかで、最悪倒産した場合に組合として何ができるか、会社更生法の法律を必死になって勉強する。それと合わせて、会社幹部との極秘の情報交換を絶やさず、会社の動静を常に把握し、緊急事態に備える。最終的に3度の希望退職を経て、ほぼ半数の従業員の協力を得たことで銀行の融資がつかなくなり、もろもろの闘争が集結する。希望退職に関する苦労話をすれば話は尽きない。

5. 人事担当役員での希望退職の体験

・総務部長の時、会社の業績不振から、会社は従業員の希望退職を募る。会社を代表して4つの工場並びに5つの営業所を訪問し、管理者全員（約百名）と個別面談を行う。さすがにその時は相当なストレスがあったのか、眼底出血をするほどであった。また、富津工場の管理者を集めて事情説明をしたときは、元直接の部下達に生活を犠牲にして希望退職のお願いすることに申し訳ない気持ちがこみ上げ、涙する光景を見せてしまったことが、会社の中でも語り草になってしまった。

委員会報告

『地区研修協議会について』

神子 恒 会長エレクト

地区ラーニング・協議会について下記の通り案内をします。

日時：2024年4月29日（月）
 9：00 登録開始
 10：00 点鐘
 第一部 本会議（全体会議）
 10：00 ～ 12：00

第二部 部会別協議会
 13：00 ～ 16：00
 ※部会にて閉会

場所：TKP東京ベイ幕張幕張ホール
 千葉市美浜区ひび野2-3
 TEL：043-296-1112

車両の乗り合わせについては、次の例会にて再度お知らせします。

ニコニコBOX

岡田良弘 親睦担当部員



伊藤嘉昭 宜しくお祝い致します。

若鍋武良 伊藤嘉昭会員入会おめでとうございます。

岡元 誠 //

栗原典子 //

飯島由美 // 岡元さん台湾ビデオ頂き感謝。

渡辺哲夫 //

小野恒靖 //

榎本守男 //

高橋裕之 //

白石幸久 //

須藤 隆 卓話をさせて頂いて。

志波生朗 須藤会員卓話有難う。

相川恵津子 //

津田 望 お仕事などでとっても良いことがありました。

三枝一雄 須藤さんの卓話を聞いて。

半生の卓話しみじみしみ汁

かずを

>1,000円 計16,000円

出席報告

栗原典子 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	38/32	27	5	5	84.21%
前回	37/28	25	8	3	80.00%
前々回	37/29	28	7	1	77.77%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$

理事会報告 若鍋武良 会長

議題1 今月と来月のプログラム

4/18 卓話 須藤隆会員、入会式

4/25 外部卓話 地区DEI推進委員会

水嶋陽子委員長 演題「DEIとは」

5/2 休会（定款第7条第1節d項）

5/9 誕生祝・結婚祝

卓話 小野恒靖会員 理事会

5/16 移動例会（バーベキューパーティ）

会場：高橋裕之会員宅

11時：集合 12時：点鐘

5/23 卓話 山下 厚会員

（3月21日の代替）

5/29（水）市内2クラブ合同例会

今年度幹事クラブ 富津シテイRC

会場：いち川

議題2 台湾・東部沖地震について

第2790地区募金活動に参加する。

2024. 4/4 例会委員会報告

渡辺 務 会員

過日の台湾訪問の際に嘉義市役所を訪問させていただきましたがその報告をいたします。みなさんには日本からしたためていく私、渡辺のお願いの文書と高橋富津市長の「親書」の内容についてはLINEでお知らせしてあるかと思います。今日お配りしたのは嘉義市訪問の際に、嘉義の林副市长がお話になった内容を和訳したものです。かいつまんでお話しすると

「富津市は羽田・成田の両空港から近くて自然豊かで、マザー牧場や鋸山などの観光地もあり観光産業にとって絶好の条件を備えていること。嘉義市にも様々な食や観光地などの資源があること。そして両市が文化・観光・経済などの様々な分野について、行政同士で協力関係が深まることを期待している。」という内容でした。この挨拶をいただいたことは大きな収穫であったと認識しています。

今回の訪台の中で、ロータリーのメンバーの皆さんには貴重な時間を市役所まで付き合ってください大変感謝しています。私は民間としてのロータリーで培った43年にも及ぶ友好・交流の関係を、行政とおしの交流に発展させたいとの思いで親書の伝達を行いました。それは昨年11月に熊谷県知事が台湾に観光や農林水産品のプロモーションに行ったことにも連携しています。一方で行政職員には「所掌事務」というのがあり、計画も予算も決まっていない中でいきなり勝手に現地へ赴き行動することはできません。はじめは民間の仲立ちがあり、私のような前のめりの人間が相互交流の仲立ちをしないと話には進みません。これはかつて、カールズバッド市との姉妹都市提携の例を見ても明らかです。この機会に何とか、富津市と嘉義市の友好関係が深まればと期待をしています。今後ともクラブの皆さんのご理解をお願い申し上げます。